

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2021年10月）

目 次

新型コロナウイルス	
◆10月31日現在の感染情報等	2
◆新規感染者の急増	2
◆10月15日以降の検疫措置	2
◆3回目のワクチン接種開始	3
◆5～11歳の子供に対するワクチン接種開始	3
◆9月の変異株ゲノム解析結果	4
内 政	
◆EU復興・強靱化計画の予算執行開始に関する合意への署名	4
◆政党支持率調査結果	4
外 政	
◆台湾経済ミッション及び台湾「外交部長」のスロバキア訪問	5
経 済	
◆ドバイ万博へのスロバキアの出展	6
◆ハンドロヴァー炭鉱の閉山	6
◆原子力エネルギー支持に関するEU10か国による共同文書への署名	7

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆10月31日現在の感染情報等

- (1) 10月のPCR検査に基づく新規感染者数は7万1906名（9月は1万8601名）、10月の死者数は396名（9月は101名）。
- (2) 10月31日現在のPCR検査に基づく累積感染者数は48万5629名（前日比+1856名）。10月31日のPCR検査件数は6733件。
- (3) 10月31日現在の累積死者数は1万3045名（前日比+11名）。
- (4) 10月31日現在の1回目のワクチン接種者数は250万711名（前日比+267名）。完全接種者数は239万2597名（前日比+197名）（人口の約44%が接種済み）。

◆新規感染者の急増

- (1) 10月12日、3月16日以降で最多となる2406人の新規感染者が確認された。1日あたりの新規感染者が2000人を超えるのは、感染第三波では初めてである。
- (2) 10月19日、3月9日以降で最多となる3480人の新規感染者が確認された。新規感染者の約70%がワクチン未接種者である。
- (3) 10月26日、1月5日以降で最多となる4764人の新規感染者が確認された。
- (4) 10月29日、パンデミックが始まって以来2番目に多い5142人の新規感染者が確認された。これまでで1日あたりの新規感染者が最も多かったのは、2020年12月30日の6315人である。
- (5) 11月3日、過去最多の6713人の新規感染者が確認された。
- (6) 11月4日、過去最多の6805人の新規感染者が確認された。
- (7) 11月9日、過去最多の6805人の新規感染者が確認された。
- (8) 11月10日現在、入院者数は2532人（そのうち約80%がワクチン未接種者）に達しており、215人が集中治療室で処置を受けている。同日現在、累計1万3405人（前日比+38人）の死者が確認されている。同日現在の新規感染者数の7日間移動平均値は6502人。
（注：新規感染者の数は、いずれもPCR検査結果に基づく）

◆10月15日以降の検疫措置（10月7日付公衆衛生局布告）

10月15日以降、非ワクチン接種者のスロバキア入国後の隔離期間が14日間から10日間に短縮される（入国5日後にPCR検査を受けて陰性の場合には自主隔離解除の規定、ワクチン完全接種者の自主隔離免除の規定については変更なし）。また、空路で直接スロバキアに入国する際のPCR検査の陰性証

明書提示が不要な国のリストに、アラブ首長国連邦が追加される。

◆3回目のワクチン接種開始、

【10月13日付保健省プレスリリース】

10月13日、新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種の登録が開始された。接種対象者は、免疫不全者（癌患者、臓器移植後に薬を服用している者等）で2回目のワクチン接種から4週間以上経過している者と、医療従事者及び社会福祉施設の入居者で2回目のワクチン接種から6か月以上経過している者である。

【10月26日付保健省プレスリリース】

10月26日、55歳以上の者に対する新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種の登録が開始された。対象者は、55歳以上で2回目ワクチン接種を受けてから6か月以上が経過した者である。対象者には、当局よりSMSで案内メールが送られる。3回目接種の希望者は、所定の電子フォーマット (<https://korona.gov.sk/>) で事前登録を行うことができる。新型コロナウイルス治療者に対しては、3回目接種を推奨しないが、希望者は3回目接種を受けることができる。

ファイザー／ビオンテック製又はアストラゼネカ製ワクチンによる2回目接種を受けた者に対しては、3回目接種でファイザー／ビオンテック製ワクチンが使用される。モデルナ製ワクチンによる2回目接種を受けた者に対しては、3回目接種でもモデルナ製ワクチンが使用される。スプートニクVによる2回目接種を受けた者と、ジョンソン&ジョンソン製ワクチンによる接種を受けた者に対しては、ファイザー／ビオンテック製ワクチンが使用される。

◆5～11歳の子供に対する接種開始（10月13日付保健省プレスリリース）

10月13日、5～11歳の子供に対する新型コロナウイルスのワクチン接種の登録が開始された。対象者は、5～11歳の子供で深刻な病気を抱えている者である。接種を受けるための手順は、まず保護者が所定の申請書（保健省HP：<https://www.health.gov.sk/?ockovanie-deti-5-11-dok>からダウンロード可）に記入し、かかりつけ医が同申請書に基づき、ワクチン接種引き換え券を発行する。その後、保護者が所定の電子フォーマット (<https://korona.gov.sk/>) で接種登録を行う。

◆9月の変異株ゲノム解析結果（10月18日付公衆衛生局プレスリリース）
公衆衛生局、スロバキア科学アカデミー（SAV）及びコメニウス大学は、

9月の陽性サンプル1953件のゲノム解析を実施したところ、1951件（99.9%）がデルタ型変異株で、2件がアルファ型変異株であった。

内 政

◆EU復興・強靱化計画の予算執行開始に関する合意への署名（10月1日付）

10月1日、ヘゲル首相はブラチスラバにおいて、欧州復興基金に基づく復興・強靱化計画の予算執行開始に関する欧州委員会との合意書に署名した。スロバキアは数週間以内に、最初の予算配分として8億2200万ユーロ（同計画の総予算額の13%に相当）を受け取る予定である。

ヘゲル首相は、「復興計画は、ただ単に学校を建ててインフラを整備するだけのものではない。復興計画は主に改革に関するものであり、スロバキアが西欧先進国に追いつき、将来の備えをするためのものである」と述べた。

スロバキアは復興計画に関し、環境政策（予算額は23億100万ユーロ）、教育改革（同8億9200万ユーロ）、科学、研究、イノベーション（同7億3900万ユーロ）、医療制度改革（同15億3300万ユーロ）、行政改革（同11億1000万ユーロ）、デジタル化（同6億1500万ユーロ）の優先事項を設定しており、総予算額は60億ユーロ以上に上る。

◆政党支持率調査結果（11月2日）

世論調査機関Focusによる政党支持率調査（10月20～27日に実施）の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。Hlas-SDが1位、Smer-SDが2位を引き続き維持している。

政党	Focus	2020年選挙
Hlas-SD（声-社会民主主義）	19.3%(34)	—
Smer-SD（方向-社会民主主義）	15.5%(27)	18.29%
SaS（自由と連帯）	12.2%(21)	6.22%
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	8.4%(15)	25.02%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	6.9%(12)	※6.96%
Sme rodina（我々は家族）	6.3%(11)	8.24%
KDH（キリスト教民主運動）	6.1%(11)	4.65%
Republika（共和国）	5.5%(10)	—
Aliancia（同盟）	5.2%(9)	—
LSNS（我々のスロバキア）	3.8% (-)	7.97%
SNS（スロバキア国民党）	3.3% (-)	3.16%
Za ludi（人々のために）	2.8% (-)	5.77%

※PS/Spolu としての得票率。PS は、2020 年国会総選挙に Spolu(共に)と政
党連合を形成して参加した。

外 政

◆台湾経済ミッション及び台湾「外交部長」のスロバキア訪問

【台湾経済ミッションのスロバキア訪問（10月22日付TASR通信）】

10月22日、スロバキア及び台湾の代表者は7つの協力に関する覚書に署名した。（スロバキアと台湾は）産業イノベーション、研究開発、投資、グリーン経済、スマートシティ、代替モビリティ等の分野で経験を共有することになる。ガレク副経済相は記者会見において、「スロバキアと台湾の協議は終わらない。12月に台北において、経済協力委員会の最初の会合が行われる予定である」と強調した。

ガレク副経済相は、「台湾はスロバキアにおいてアジアの中では2番目に大きな投資国（ママ）であり、これまでにスロバキアで5億ユーロ以上を投資しており、3000人以上の雇用を創出した」と述べた。

陳正祺（Chern-chyi Chen）台湾「副経済部長」は、「スロバキアと台湾は開放経済を掲げる小国（ママ）であり、有能で勤勉な人々が働いており、自由経済政策が根付いている」と述べた。

在スロバキア台北代表処の李南陽・代表は、スロバキア政府代表者とのコミュニケーションを評価するとともに、スロバキアが台湾に16万個の新型コロナウイルスのワクチンを提供したことに対し謝意を表明した。（当館注：10月5日、ガレク副経済相は、9月にスロバキアが台湾へのアストラゼネカ製ワクチン16万個を無償提供したことに関連し、「台湾企業は、スロバキアに恩返しすることを決定し、体温計5万5000個及びテレビ10台をスロバキアに無償提供した」と発表した。）

【台湾「外交部長」のスロバキア訪問（10月26日付TA3ニュース）】

10月26日、呉釗燮（Joseph Wu）台湾外交部長はブラチスラバにおいて、NGO「グローブセック研究所」主催の経済フォーラムに出席した。呉「外交部長」のスロバキア訪問は非政治的なものであるが、中国は同訪問について激しく批判しており、スロバキアに対して報復措置を取ると警告している。

呉外交部長は、「政治的な会談は一切要求していない。経済フォーラムに出席し、台湾を支持する人々と面会するのは自然なことである」と述べるとともに、「中国の反応は予想できるものである。反論しなければならない理由はない。台湾は、バイラテラルな協力を発展させたいだけであり、中国を出し抜くつもりはない」と述べた。

台湾は、スロバキアの自動車産業が必要としている半導体の生産大国である。呉外交部長は同フォーラムにおいて、「EUとスロバキアは、台湾にとって重要なビジネス・パートナーである」と述べた。

呉外交部長は、パンデミックにおけるスロバキアと台湾の協力を評価し、「台湾は、スロバキアを含む欧州のパートナーにマスクを提供した。その後、スロバキアは16万個の新型コロナウイルスのワクチンを台湾に提供した。パンデミック前、台湾ではスロバキアについてあまり知られていなかったが、今では誰もがスロバキアのことを知っている」と述べた。

経 済

◆ドバイ万博へのスロバキアの出展

【スリーク経済相のドバイ万博出席（10月5日付経済省プレスリリース）】

10月5日、スリーク経済相はドバイ万博において、コシツェ工科大学機械工学部及びマタドール（Matador）社（当館注：スロバキアの自動車部品メーカー）が共同開発した水素自動車（スポーツカー）「MH2」の展示会に出席した。MH2は、4秒で時速100kmまで加速することができ、最高時速は約250kmである。スリーク経済相は、「未来の燃料である水素エネルギーを導入すれば、温室効果ガスを大幅に削減することができる」と述べた。

【ヘゲル首相のドバイ万博出席（10月15日付首相府プレスリリース）】

10月15日、ヘゲル首相は、ハシミ・アラブ首長国連邦国際協力担当相（兼ドバイ万博事務局長）とともに、ドバイ万博のスロバキアの展示会場を視察した。ヘゲル首相は、「ドバイ万博は、スロバキアの美しさ、文化、先進技術を世界に伝える重要な機会である。ドバイ万博における展示は、将来スロバキアで新規雇用を作りだし、新規投資を呼び込むことができるかもしれない」と述べた。

ドバイ万博を視察中のスリーク経済相は、「万博の主な役割は、ビジネスの仲介と人脈形成である。（新たな）ビジネスの実現に向けて尽力していく」と述べた。ヴァロヴィチョヴァー・スロバキア博覧会代表によれば、スロバキアの展示会場の開館は若干遅れたものの、開館後2週間で数千人が訪れた。

スロバキアは常設展示場において、主に水素自動車、宇宙探査車、フライト・シュミレーターの展示を行っている。

◆ハンドロヴァー炭鉱の閉山（10月8日付経済新聞）

9月、上ニトラ炭鉱プリエヴィザ社（HBP）は、同社が所有するハンドロヴァー炭鉱の閉山を決定した。これに伴い、同社は、12月までに237名の従業員を解雇する。ハンドロヴァー炭鉱は、112年間採掘を続けてきたスロ

バキア最古の現役の炭鉱であった。

同社のシヴァコヴァー広報担当は、「ハンドロヴァー炭鉱の閉山は、2019年11月28日に欧州委員会が承認したハンドロヴァー市及びノヴァーキ市周辺の鉱山の閉山に関する工程表に基づいている」と述べるとともに、「ハンドロヴァー炭鉱の383名の従業員のうち95名については、しばらくの間は他の炭鉱で勤務する。解雇される従業員のうち約100名については、政府の（再就職のための）研修プログラムに参加予定である」と付言した。（当館注：スロバキアは、2023年までに国内全ての炭鉱を閉山予定。）

◆原子力エネルギー支持に関するEU10か国による共同文書への署名（10月12日付財務省プレスリリース）

マトヴィチ財務相は、原発をより安価に建設しやすくことを目的としたEU10か国による共同文書に署名した。同文書は、ル・メール仏経済・財政・再生相の主導により、EU10か国（ブルガリア、チェコ、フィンランド、フランス、クロアチア、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア、スロバキア、スロベニア）によって署名され、仏フィガロ紙、独ヴェルト紙等の欧州各国メディアで公開された。

スロバキア財務省は、気候目標を達成するためには、全ての技術を活用する必要がある旨国際レベルで指摘し続けている。我々は、グリーン・トランスフォーメーションのために必要な財源を確保すべく、原子力エネルギーを低炭素エネルギーとして認識してもらうために努力している。

原子力エネルギーの活用は、我々が現在目撃しているエネルギー価格の高騰を防ぐことができる。また、原子力は、非EU諸国に対するエネルギー依存度を引き上げることなく、（EUにおける）電力及びエネルギーの確保に貢献している。欧州の原子力技術は世界屈指であり、原子力技術の発展により、近い将来EUで100万人以上の熟練労働者の雇用を確保できる。

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

